

増加する大連からの農業研修生 親日土壌と日本の事情を背景に

大連 レポート

(取材・猪瀬和道)

<http://www.012.upp.so-net.ne.jp/kidalian/kazu-ino@ka2.so-net.ne.jp>

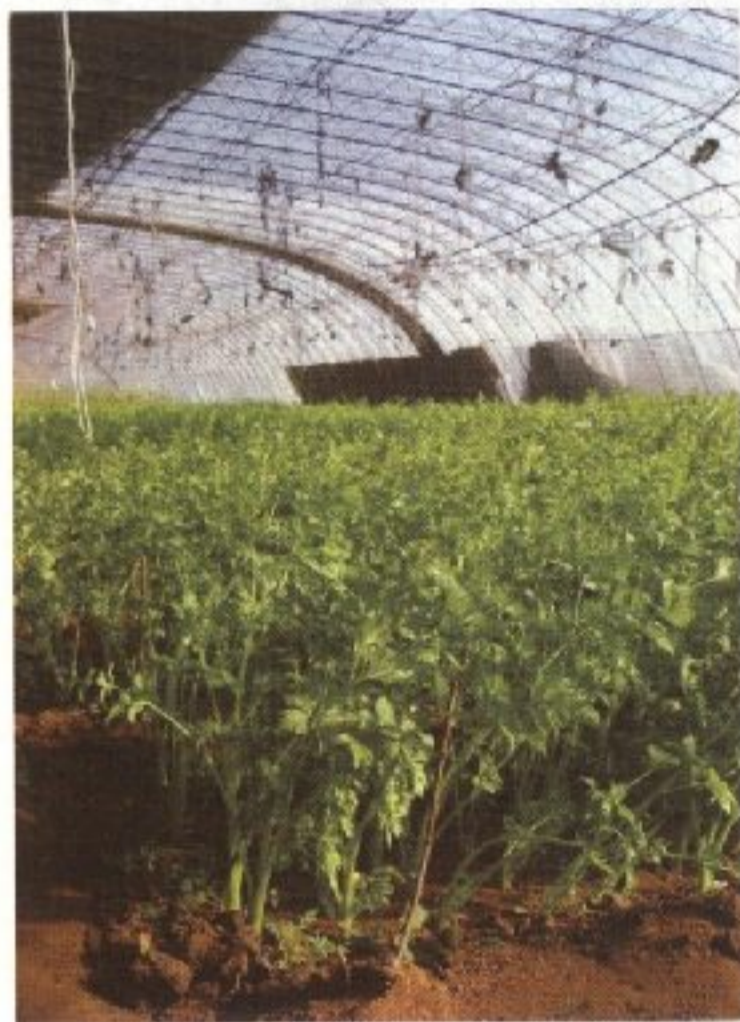
日本と大連の

農業(下)

派遣事業は日中の利害一致

「日本の農業は技術的に進んでいるし、何よりも日本の農家の農業に取り組む精神が素晴らしい。とてもいい勉強になりましたし、機会があればまた行ってみたい。そして将来は私自身も多くの学び、中国の農業に進んだ技術を取り入れて、家族の暮らしを豊かにしてやりたいですね」

こう笑顔で語るのは、中国人農業研修生の生活指導員として昨年、北関東地方の農村に三か月間派遣され、日本の農業を見て来た呂志智さん(二八)



ビニールハウス栽培で厳寒の冬季もスクスクと農産物が育つ(大連の首蘭店市で)



「日本の農業は進んでいる」と笑顔で語る呂志智さん

(大連・庄河市)だ。中国人農業研修生はここ数年、日本各地で増加傾向にある。農業分野における海外からの研修生は二〇〇三年には四二八〇人(農水省調べ)にも上り、しかもそのうちの八五パーセントが中国人だった。中でも最近は大連を中心とした東北地方の青年層が目立っているという。

大連で人材派遣の仲介、斡旋を手掛けている日本人アドバイザーは次のように分析する。

「日本の農家は後継者不足に陥って働き手が少なくなり、高齢化が深刻化しています。一方の中国は日本と比べると農業技術は遅れ、農村経済の面でも都市との格差が広がるばかり。先進的な農業技術を学びながら収入が得られる農業研修生として、日本へ行きながら働いている人が多いのです。こうして日中両者の利害が一致しているため、中国からの農業研修生が増えています。とりわけ大連の人たちは親日的で、真面目に働くことから日本側も東北地方の人を採りたがっているのが現

状です。日本が受け入れている中国人研修生のうちの割が大連の人たちと言われています。この傾向はさらに強まって行くことでしょうか」

評価高い大連の研修生

日本で海外研修生の受け入れに関する支援と助言にあたっている財団法人「国際研修協力機構」(本部・東京都千代田区)によると、農協が受け入れ機関となって農業部門における外国人研修生の受け入れ事業がスタートしたのは一九九二年だった。以来、中国人を中心とした研修生の受け入れは、日本の農業現場ではすっかり定着してきた。

同機構農水班では「中国人研修生が増えているのは、真面目に働き、農業に対する理解度も高い、ということが大きき原因になっているからでしょう」と見ている。

一年間の農業研修を終了した後も、技能実習生として施設園芸や養豚などの五分野に限定して二年間は日本に留まって実働することが認められている。現在も約一〇〇〇人が技能実習生として農業の第一線で働いている。その大半が中国人だという。

では、実際に中国人研修生たちを受け入れて技術指導をしている農家の反応はどうだろうか。

茨城県旭村の旭村農協は農家の要望

を受けて一九九六年から中国人研修生の受け入れを始めた。当初は一〇人の研修生でスタートしたが、農家からは「家族が増え、生活に活気が出て来た」「中国人に技術指導することで、自分たちの農業を見直す機会にもつながった」「中国との異文化交流ができて」とともに、自分たちも国際貢献しているのだな、という充実感を感じることができると好評で、今年二月の時点では一三〇人にもなった。

これまでではすべて四川省から受け入れて来たが、昨年一月からは大連からも採用し、一三〇人のうち二六人が大連からの研修生だ。「特に大連の人たちは純朴で真面目で、農家とのコミュニケーションはうまく取れているようです。研修生の受け入れは農家自らの活性化にもつながっています。農家からの希望もあり、今後も大連方面からの受け入れは継続されていくことでしよう」（旭村農協企画課）と、大連の農業研修生に対する評価は高い。

「三農問題」解決へ人材育成

工業部門の研修生を含めた中国側の送り先機関の企業は、大連だけでも三〇以上あると見られており、その多くが農業部門の研修生も派遣している。

大連万順達国際物流公司（本社・大連市中山区）もそのひとつだ。

国有企業が前身の同会社は二〇〇〇



中国の農業振興に向けて研修生を派遣する大連万順達国際物流会社の薛京偉総経理

年五月に株式会社となり、物流を中心に事業展開しているが、二〇〇二年秋から農業研修生の派遣事業を手掛け、これまで四回にわたって計二六人を東京近郊の農家に送り込んでいる。

薛京偉総経理が語る。

「農業研修生の派遣事業は政府の政策に基づいた社会的貢献であり、決してお金儲けではありません。中央政府は農村の経済を活性化させる『三農問題』を重要課題に掲げていますが、私たちはその政策に沿って、中国の農業人材を日本に派遣しているのです。最大の目的は、中国の農民が進んだ日本の技術を学び、古い中国の農業を変えて行くことなのです。農民の知識は決して高くはありませんが、日本から研修を終えて帰って来ると、農業に対する考え方が大きく変わり、見違えるほどです。これからも日本側と協力して、農業研修生の派遣事業を拡大して行きたいと思っています」

大連と日本。距離的に近いことに加え、古くから日本との各分野における

交流が活発であり、さらには海産物や米作など食生活の面でも共通点もあるなど、対日関係では中国国内でも恵まれた環境にある。こうしたプラス材料を背景に農業研修生の派遣事業でもさらに活発化するものとみられる。これからは中国側が、日本で研修を終えた人たちの技術と能力を生かすため受け皿をどう築いて行くか、新たな課題も見えて来た。

※メモ

【三農問題】

総人口の七〇パーセント近くが暮らす農村部は経済的なマイナス要因を抱えており、中国の健全な発展を阻害するものとされている。その中でも、農業の生産性低下、農村の疲弊、農民の所得低迷の三つの問題を克服することが重要課題とされている。このため、中央、地方政府は農民に対する税制優遇措置など様々な支援政策を打ち出している。



大連は「リンゴの郷」と呼ばれ、郊外にはリンゴ畑が広がる

企業様向け イベントコンパニオン、モデル、スチールモデル派遣致します！

日本語のできる
350人在籍中！



お客様の御もてなしをお任せください。

レンタルユニフォーム承ります。

- ▶ イベントコンパニオン
- ▶ モデル・スチールモデル
- ▶ 試食会・展示会
- ▶ パーティコンパニオン
- ▶ 起工式・開業式



上海クイーンズ
Shanghai Queens

上海市茅台路455弄12号14楼1406室
Tel: (021) 5206-0113
担当者: 大賀 136-7188-1444
10:00~19:00(年中無休、土日にも対応いたします)

WALKER CHINA 編集者・ライター募集

募集職種: 編集者・ライター (正社員1名)、
ライター (非常勤 数名)

勤務地: 正社員 (上海)、ライター非常勤 (中国主要都市)
華南地域のライターを優先募集

業務内容: 正社員~中国関連ビジネスの取材、ライティング、編集
非常勤~中国関連ビジネスの取材、ライティング

応募資格: ビジネスライティングの経験。または人材、労務、
会計、法律、マーケティング、工場管理、投資コンサル
ティング業務などの経験、あるいは同等の経験

応募方法: メールで biz@shwalker.com まで